



豊後大野市の「みらい」を考えよう！

# みらいデザイン会議 実施報告書



2025(令和7)年9月

# index

## 目次

- 01 | 実施概要
- 02 | 実施結果
- 03 | 事後アンケート



▲市民ワークショップ集合写真

# 01 | 実施概要

# みらいデザイン会議の目的とポイント

## ✓ 目的

参加者のみなさんが豊後大野市の未来について話し合っていただき、豊後大野市が目指すべき「将来像」を作り上げていくため、みらいデザイン会議を開催しました。

**01** 市民同士や市民・職員の交流の場の創出する

## ✓ ポイント

**02** 豊後大野市の未来を自分事として捉え、みんなで未来の豊後大野市を作り上げていく思いを醸成する

**03** 基本構想に掲げるまちの将来像に盛り込むべき“キーワード”やまちの将来像に“込める思い”を探す

# 全3回の実施内容

豊後大野市の将来像を市に提案することをゴールに全3回のみらいデザイン会議を実施しました

第1回

豊後大野市の  
よいところと  
足りないところは？



第2回

豊後大野市は  
どのようなまちに  
なってほしい？



第3回

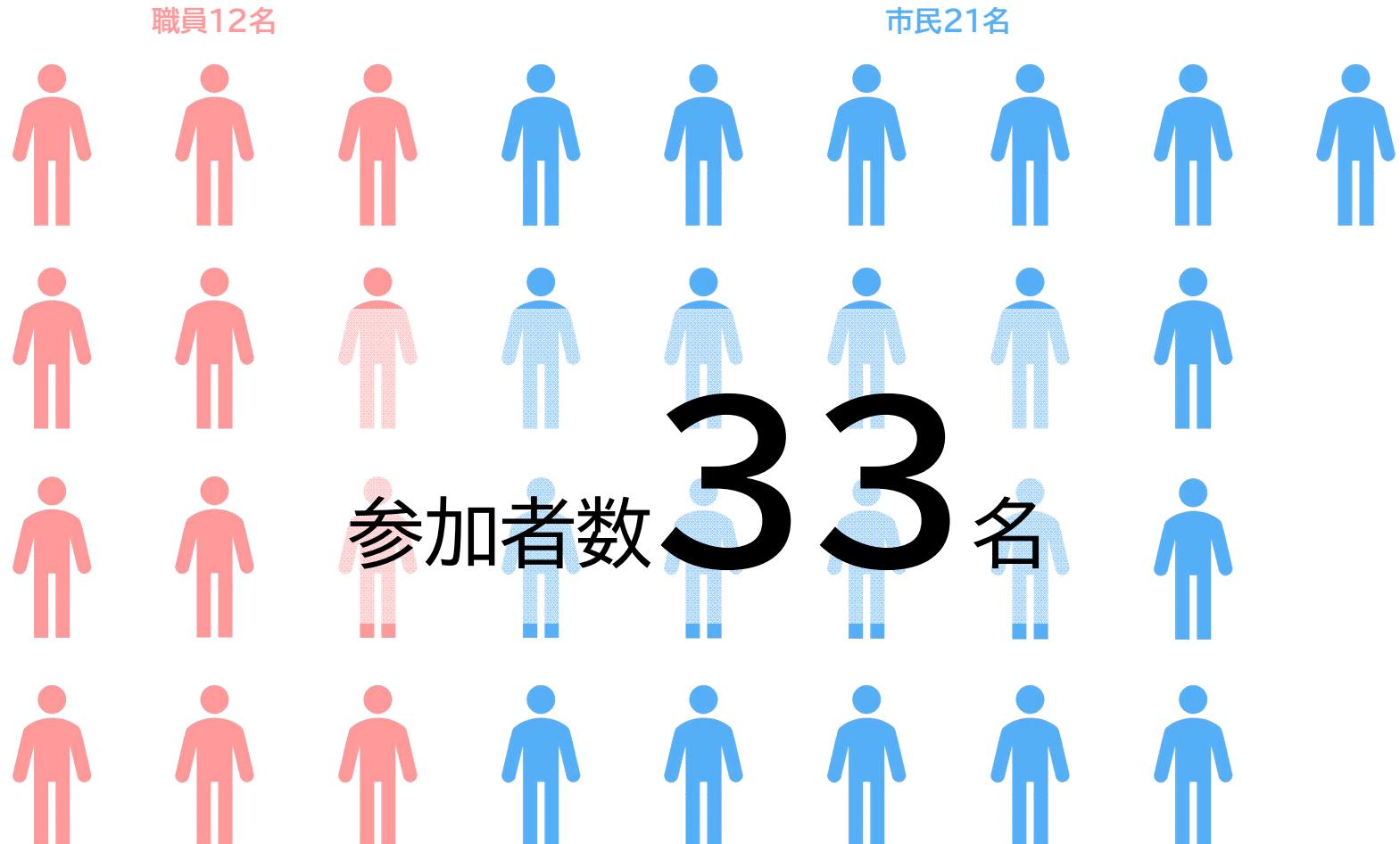
豊後大野市の  
将来像を  
市に提案する！



- ご参加いただいたみんなで豊後大野市のよいところと足りないところについて話し合い、模造紙で整理する
- 10年後、20年後に豊後大野市がどのようなまちになってほしいかイメージする(キーワード出し)
- みんなで出したキーワードをみながらめざすまちの将来像のフレーズを作成する
- フレーズに込めた想いを作成する
- 第2回でみんなで作成した模造紙を使って、市にまちの将来像のフレーズ及びそれに込めた想いを提案する
- 副市長からのコメントを受けて感想や想いを話し合い、記録に残す

# 参加者数と参加者の属性

職員12名、市民21名の合計33名の方に申し込みいただき、豊後大野市の未来について話し合いを実施しました



# 02 | 実施結果

# 第1回 豊後大野市のよいところと足りないところは？

グループメンバーを替えながら、多様な参加者と豊後大野市のよいところと足りないところを話し合いました

## 第1ラウンド 「豊後大野市の よいところと足りないところ」

### ①個人ワーク(5分)

- 豊後大野市のよいところと足りないところのキーワードを付箋に書く(\*付箋1枚に1つのキーワード)

### ②グループワーク(15分)

- 付箋をグループで共有し、模造紙上で同じような意見を集めて整理する
- 模造紙上で、グループニングした意見に見出しを付ける

### ③意見まとめ(5分)

- グループで話し合った内容をまとめて、模造紙を整理する



## 第2ラウンド 「豊後大野市の よいところと足りないところ」

### ①ホスト共有(2分)

- ホストから第1ラウンドでの意見を新たなメンバーに共有する

### ②グループワーク(10分)

- ホストからの共有を踏まえて、追加の意見を出し合い、模造紙上で整理する



## 第3ラウンド 「豊後大野市の よいところと足りないところ」

### ①ホスト共有(5分)

- ホストから第2ラウンドでの追加意見を戻ってきたメンバーに共有する

### ②グループワーク(5分)

- ホストからの共有を踏まえて、追加の意見を出し合い、模造紙上で整理する

### ③発表(10分)

- 各グループでの話し合いの結果を会場全体に共有するため発表する



# 第1回 豊後大野市によいところと足りないところは？

## Aグループ

### <よいところ>

- ・ 川がキレイ
- ・ 自然豊か
- ・ 空気が澄んでいる
- ・ 野菜がおいしい
- ・ 大分の野菜畑
- ・ スポーツのできる  
やすい環境
- ・ 人の距離感 等

### <足りないところ>

- ・ 遊ぶところが少  
ない
- ・ 他世代交流の場  
が少ない
- ・ 車が必要
- ・ 職種が少ない
- ・ 子どもが少ない
- ・ 病院が少ない 等

## Bグループ

### <よいところ>

- ・ 星空がきれい
- ・ 農業が盛ん
- ・ 外国人多い
- ・ サウナ
- ・ 子育て制度◎
- ・ 地域のイベントが  
多い
- ・ 滞留が少ない 等

### <足りないところ>

- ・ 車がないと厳しい
- ・ 高校が1つのみ
- ・ 産科がない
- ・ お店が少ない
- ・ 職場が少ない
- ・ 7つの町がバラ  
バラ
- ・ 発信力 等

## Cグループ

### <よいところ>

- ・ 人が温かい
- ・ 自然が多い
- ・ 各町村のつなが  
りが強い
- ・ 災害に強い
- ・ 地域のつながり
- ・ ごはんがおいしい
- ・ 観光資源 等

### <足りないところ>

- ・ 若者が少ない
- ・ 地域間格差
- ・ 各町村の強みを  
知らない
- ・ 交通手段
- ・ 遊ぶところが少  
ない
- ・ 個性がない 等

## Dグループ

### <よいところ>

- ・ 自然が豊か
- ・ 人がよい
- ・ ジオパーク認定  
されている
- ・ 幅広い年代との  
交流
- ・ 最低限のインフラ  
が揃っている 等

### <足りないところ>

- ・ 移住者との地元  
の人との交流が  
少ない
- ・ 交通の便が悪い
- ・ お金の落とし方
- ・ 幼稚園がなく  
なった
- ・ PRが弱い 等

## Eグループ

### <よいところ>

- ・ 原尻の滝
- ・ ほどよく田舎
- ・ 農作物が豊富
- ・ 人がやさしい
- ・ 子育て支援充実
- ・ 移住者の個性
- ・ おいしいもの
- ・ 自然の多さ 等

### <足りないところ>

- ・ バス路線
- ・ 病院が少ない
- ・ 20代が少ない
- ・ 一体感
- ・ チルさ
- ・ ユーモア
- ・ 仕事の選択肢が  
少ない 等

## Fグループ

### <よいところ>

- ・ 自然が豊か
- ・ サウナ
- ・ 暮らしやすい
- ・ 少人数教育
- ・ 飯がうまい
- ・ 人の温かさ
- ・ 人が優しい
- ・ 7町それぞれ 等

### <足りないところ>

- ・ 三重町以外のま  
ちのにぎわい
- ・ 保育所が少ない
- ・ 交通
- ・ レジャー、アク  
ティビティ
- ・ 若者が来たいと  
思うところ 等

# 第2回 豊後大野市はどのようなまちになってほしい？

第1回で話し合った豊後大野市のよいところや足りないところをベースに、将来、豊後大野市にどのようなまちになってほしいかについて話し合い、まちの将来像を表すキーワードを出し合った上で、まちの将来像を作り上げました

## キーワード出し

- まちの将来像を表すキーワードを出し合い、似ているキーワードを整理する
- まちの将来像をつくるに当たって、使用したいキーワードや大切にしたいキーワードを選ぶ



## まちの将来像づくり

- 選んだキーワードを材料にまちの将来像をつくる
- まちの将来像に盛り込んだキーワードに込めた思いを整理する



## とりまとめ

- 第3回の市への提案に向けて、まちの将来像や盛り込んだキーワードに込めた思いを模造紙にまとめる



# 第2回 豊後大野市はどのようなまちになってほしい？

## Aグループ

### <主なキーワード>

- ・自然を活かした町
- ・後世に伝えたい文化
- ・独自の文化
- ・大きな安心と野菜が自慢
- ・安心できる町
- ・住みたくなるまち豊後大野



豊かな自然と後世に伝えたい文化  
大きな安心♪野菜が自慢！  
住みたくなるまち豊後大野

## Dグループ

### <主なキーワード>

- ・自然
- ・9万年
- ・大地のめぐみ
- ・豊かな暮らし
- ・日本の畑を目指して
- ・老若男女
- ・おいしいを発掘
- ・人のつながり
- ・未来へつなぐ
- ・多様性
- ・虹



七色に輝け、豊後大野！

## Bグループ

### <主なキーワード>

- ・笑顔
- ・みらい
- ・未来
- ・始まり
- ・つなぐ伝統
- ・次世代へつなぐ
- ・7つの町
- ・ふるさと
- ・大地
- ・9万年
- ・選ばれる町



始まりの地 七つの町がつながる未来  
～自然と人がととのう町～

## Cグループ

### <主なキーワード>

- ・科学変化
- ・あなたの❤
- ・❤
- ・シン・イナカ
- ・田舎でも出来ること
- ・田舎しか出来ないこと
- ・田舎だから出来ること



ブンゴオオノ×「❤」=シン・イナカ  
—あなたの「❤」でブンゴオオノがかわる—

## Eグループ

### <主なキーワード>

- ・幸福度日本一
- ・過疎化に○○パンチ
- ・若者が集う
- ・こどもが残る
- ・人が育つ
- ・暮らしを創る
- ・楽しいがみつかる
- ・挑戦できるまち
- ・自然
- ・サウナ



過疎化に○○パンチ 幸福度日本一

## Fグループ

### <主なキーワード>

- ・人の温かさ
- ・丁度いい？
- ・自慢できる町
- ・知ってほしい
- ・ふるさとを誇れる
- ・住みよい
- ・不自由がない
- ・未来に残ってほしい
- ・希望



豊かさを自慢できる町 ぶんごおおの

※ 諸事情により、一部の表現を伏せています。

# 第3回 豊後大野市の将来像を市に提案する！

第2回で作成したまちの将来像について、将来像に込めた思いとともに副市長に発表し、副市長を意見交換を行った上で、全3回を通じた振り返りを行いました

## 発表

- 各グループからまちの将来像や盛り込んだキーワードに込めた思いを副市長に提案する



## 意見交換

- 各グループからの発表を受けて、副市長からコメントし、豊後大野市が目指すべき方向性について副市長と各グループの意見交換を実施する



## 振り返り

- 以下のテーマで全3回を通じた感想や思いを話し合い、全体に共有したい思いや感想を模造紙に貼り出します
  - ✓ みらいデザイン会議の良かったところ、楽しかったところ
  - ✓ まちの将来像に必ず盛り込んでほしいキーワード
  - ✓ まちの将来像を実現するために自分にできること



# 第3回 豊後大野市の将来像を市に提案する！

## Aグループ

豊かな自然と後世に伝えたい文化  
大きな安心♪野菜が自慢！  
住みたくなるまち豊後大野

### <将来像のポイント>

- ・ 豊後大野市の魅力である「豊かな自然」「後世に伝えたい文化」「大きな安心」「野菜が自慢」を盛り込み、これらの魅力を高めることにより、住みたいまちになっていくことを表現した

## Bグループ

始まりの地 七つの町でつなぐ未来  
～自然と人がととのう町～

### <将来像のポイント>

- ・ 自然やビジネスの面で始まりを想起させることから、「始まりの地」と表現した
- ・ 7つの町が輪となって、町に関わる多様な主体同士や今と未来がつながってくことを目指したい
- ・ サウナ用語を使って自然と人との調和を「ととのう町」と表現した

## Cグループ

ブンゴオオノ×「♥」=シン・イナカ  
ーあなたの「♥」でブンゴオオノがかわるー

### <将来像のポイント>

- ・ それぞれが♥に気になっていることを入れ、方程式が成り立つように何ができるのかを考えることができたら面白いまちになる
- ・ 通常のネガティブなイメージを一新し、新たな一流の田舎という思いを込めた

## Dグループ

七色に輝け、豊後大野！

### <将来像のポイント>

- ・ まちの将来像をつくるにあたり大切にしたいキーワードは「虹」であった
- ・ 豊後大野市は7つの町村が合併して誕生したことから多様性や共生があふれたまちを象徴する将来像としたい

## Eグループ

過疎化に○○パンチ※ 幸福度日本一

### <将来像のポイント>

- ・ 少子高齢化の現状を悲観的にとらえず、地域住民全体で積極的に打破できる未来を生み出したい
- ・ まちに住む人が幸福度日本一と思える社会システムを創造したい

## Fグループ

豊かさを自慢できる町 ぶんごおおの

### <将来像のポイント>

- ・ 一目見ただけで分かりやすい将来像として作り上げた
- ・ 住民一人一人が豊後大野市の豊かさを自慢できる町を目指したい
- ・ 平仮名で「ぶんごおおの」とすることで多くの人に将来像を親しんでもらいたい

※ 諸事情により、一部の表現を伏せています。

# 各グループのメンバー

多様なバックグラウンドを持つメンバーで、全3回を通じて活発な話し合いができました

Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



Fグループ



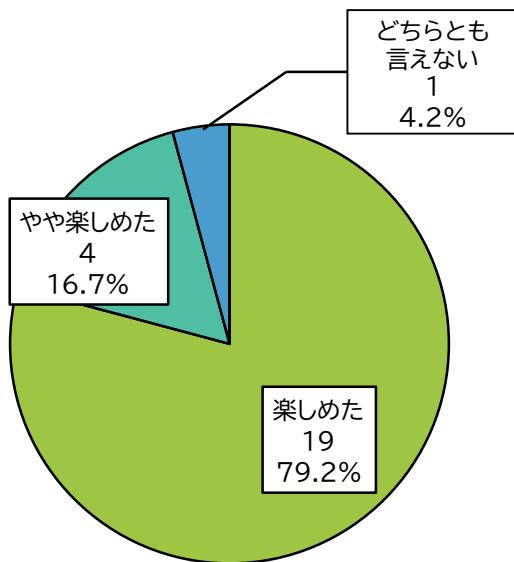
## 03 | 事後アンケート結果

# 事後アンケート結果

全3回のみらいデザイン会議を通じたアンケートの結果は以下のとおりです

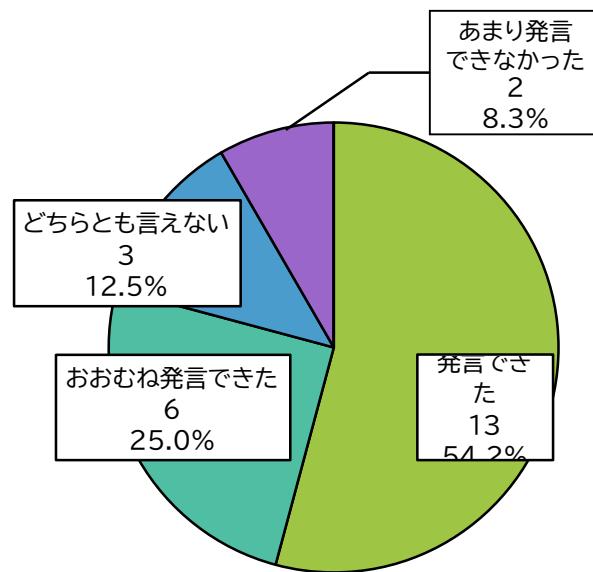
**Q** みらいデザイン会議(全3回)はお楽しみいただけましたか?

- みらいデザイン会議(全3回)を通じて、9割弱の参加者が「楽しめた」「やや楽しめた」と回答しています



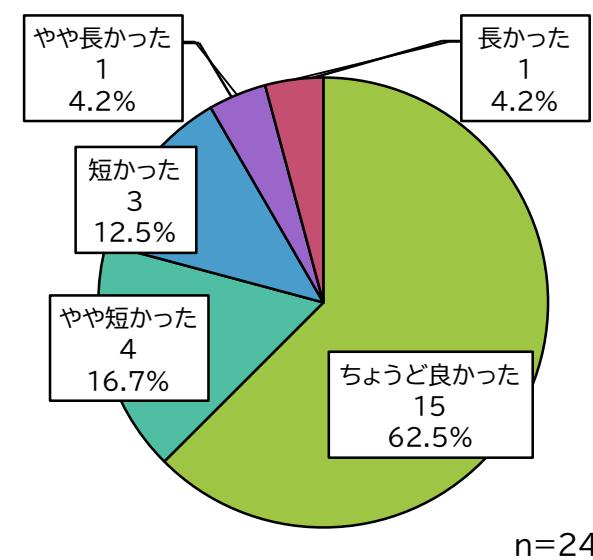
**Q** みらいデザイン会議(全3回)では、ご自分の意見を十分に発言できましたか?

- みらいデザイン会議(全3回)を通じて、8割程度の参加者が「発言できた」「おおむね発言できた」と回答しています



**Q** みらいデザイン会議(全3回)での話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか?

- みらいデザイン会議(全3回)を通じて、6割程度の参加者が「ちょうど良かった」と回答している一方で、3割弱の参加者が「短かった」「やや短かった」と回答しています

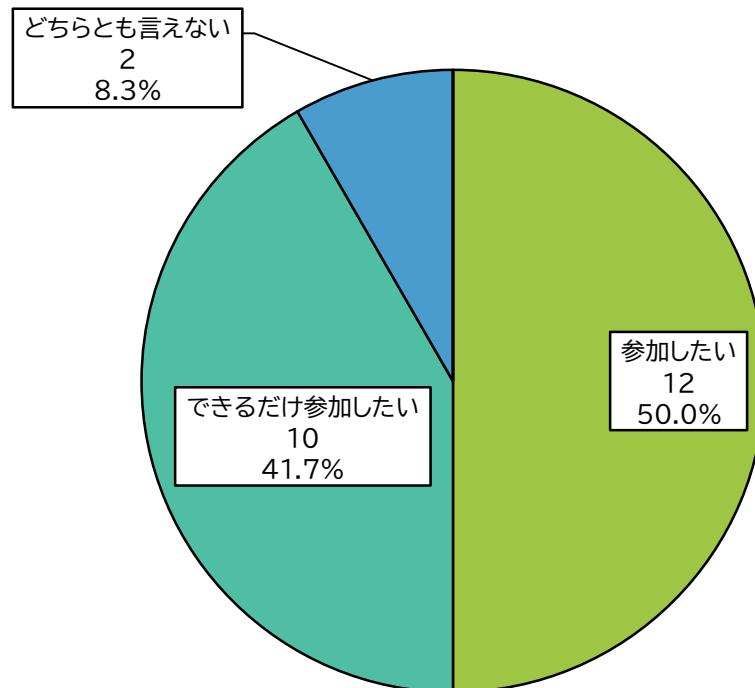


# 事後アンケート結果

全3回のみらいデザイン会議を通じたアンケートの結果は以下のとおりです

Q 今回のみらいデザイン会議以外で、今回のように豊後大野市の施策や取組について話し合う機会があれば、また参加してみたいと思いますか。

➤ 9割程度の参加者が、今回のように豊後大野市の施策や取組について話し合う機会があれば、「参加したい」「できるだけ参加したい」と回答しており、市政に前向きに関わりたいという思いを醸成することができました



n=24

# 事後アンケート結果

全3回のみらいデザイン会議を通じたアンケートの結果は以下のとおりです

**Q** 今回のみらいデザイン会議全体を通して、感想があればお書きください。

## ■ 多様な意見を聞くことができた、様々の人と交流することができた(10件)

- ・全体を通して、多様なキーワードが出され、今後の8年間の計画策定にとって非常に参考になる内容だったと感じました。特に「継承」「チルさ・ユルさ」「一流の田舎」といった言葉には、それぞれの想い・若い人達の声・将来像がよく表れていたと思います
- ・現役高校生の意見・意志を直接聞けたことも大変貴重で、その世代の感覚を実感できました。
- ・各分野で活躍する個性豊かな皆さんと、同じ方向を向いて、前向きに話し合いをする機会というのにはなかなかないと思います(課題や不満、足りないところを話し合うことが多い?)。
- ・付き合い参加することになり、前向きな参加ではなかった。また豊後大野市へ転居してきたが、元々転居に前向きではなかった背景もある。しかしざ参加させてもらうと色々な立場の人が一生懸命頑張っていることが分かり、とても良い刺激になった。
- ・しかしざ参加させてもらうと色々な立場の人が一生懸命頑張っていることが分かり、とても良い刺激になった。
- ・豊後大野に住むたくさんの方の色々な意見が聞けて面白かった！
- ・若い高校生が来てくれたのがとても嬉しかったです！
- ・2回目の講座に参加出来なかったのが悔やまれますが、いろんな話ができるて楽しかったです！
- ・いろんな方と話す良い機会となりました。このような形で豊後大野さん全体の輪がひろがることで、豊後大野市の発展にもつながるのではないかと思います。
- ・職員、一般の方それぞれ市に対する想いや願いをたくさん話し合って、それぞれの見方を知れて良かった。

## ■ 学びになった、知らなったことを知ることができた(7件)

- ・全体として学びと気づきの多い会議であり、大変参考になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・豊後大野市の良いところを再発見でき、豊後大野市に対して愛着が増した。前向きに楽しく生活していきたい。
- ・自分の今いる現状と周りが行なっていることのことが知れ、良いモチベーションアップとなりました！
- ・自分では思いつかないようなものも多く、学びにもなりました！
- ・良いところだと思ってたことでも立場が変わると良くないと感じている人もいたことに驚いた。
- ・勉強になりました
- ・新たな発想や考え方を知ることができた

↓ 次頁に続く

## ■ 楽しかった、話しやすかった(4件)

- ・楽しかった。
- ・雰囲気がよくて意見を言いやすかった。
- ・全体を通して、個人的にはとても楽しかったです。各関係の皆様ありがとうございました。
- ・楽しかったです

## ■ もっと話したい(3件)

- ・今回のような前向きな協議の場は貴重だと思います。まだまだ引き続き、形を変えて、色々な話し合いをしたいと思いました。このような機会を作っていただけたらと思います。ありがとうございました。
- ・話す時間と他班の意見を聞く時間のバランスがちょうどよく、もっと話したい気持ちになりました。市民に参加する機会を提供してくださり有難かったです。
- ・もっともっと話したいです！合宿しましょう！なんなら視察に行きましょう！できること全部やるんで連絡ください！あと、アトツギ甲子園の宣伝もよろしくお願ひ致します！

## ■ 豊後大野市の将来を考えることができた、これからも考えていきたい(3件)

- ・自分が未来の子供達へ何ができるのか、先人の方々が何をみてつないできたのかを今一度考えて豊後大野市で自分ができること、みんなと何ができるのかを楽しんで考えていきたいと思います！
- ・みんなで連携して市を盛り上げていきたいと感じました。
- ・豊後大野市の事をより深く考えることができ、自分がこの豊後大野市をどんな町にしたいかを考えることができた。

## ■ 豊後大野市の将来を考えることができた、これからも考えていきたい(3件)

- ・一方で、より具体的な意見を引き出すためには、個人で考える課題を事前に設け、その後にグループで意見交換をするような形式も効果的ではないかと感じました。また、最後に「若い人」「女性」という国から指定されたテーマもあると伺いました。こうした背景を踏まえ、より実行性ある計画策定の為、対象となる若年層や女性の方々が自由に意見を出しやすい場を設けることも有効ではないかと思います。
- ・基本的に時間配分がちょうどよいと思いましたが、第3回については発表からいきなりだったので、前回話した言葉の意味や込めた思いを共有する時間がなく、本当はもっとあった発言を発表時に伝えられず読むだけになってしまったかなと思います。思い出して話し合う時間が欲しかったです。